



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 GreenBee株式会社 上場取引所 東
コード番号 3913 URL <https://www.greenbee.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 定則
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコントロール本部 副部長 (氏名) 鳴海 雅元 (TEL) 03-6262-8660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	663	18.0	127	—	126	818.4	154	890.7
2024年12月期第3四半期	562	△3.5	10	—	13	166.9	15	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 151百万円(445.0%) 2024年12月期第3四半期 27百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	66.26	—
2024年12月期第3四半期	6.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年12月期第3四半期	1,455	1,332	91.6	573.20
2024年12月期	1,304	1,191	91.3	510.73

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,332百万円 2024年12月期 1,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	911	13.0	150	195.8	150	147.9	189	81.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	2,348,521株	2024年12月期	2,348,521株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	24,271株	2024年12月期	16,471株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	2,332,450株	2024年12月期 3 Q	2,274,577株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大が見られる一方で、地政学的リスクの高まりや米国の政策動向による影響、原材料価格やエネルギーコストの高騰、円安を伴う物価上昇などにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。当社に関連する分野ではAI、IoT、ビッグデータなどを活用して既存システムからの脱却や、新たなビジネスモデルの創出（DX:デジタルトランスフォーメーション）、気候変動や環境破壊の抑制を目指す再生可能エネルギーの導入（GX:グリーントランスフォーメーション）が急速に進んでおり、当社にとって非常に良好な状況が続いております。

このような状況下において、当社は、「テクノロジーで持続可能な未来を築く会社」というコーポレートミッションの下、「GXサービス事業」、「DXサービス事業」、「テクノロジーライセンス事業」を重要領域として事業を展開しております。

当社グループの事業領域の概要は、下表のようになっております。

事業領域	GXサービス事業	DXサービス事業	テクノロジーライセンス事業
事業内容	お客様の脱炭素化に向けた取り組みに貢献するサービスをワンストップで提供する事業	継続性と収益性の高いサブスク特化型事業	競争力の高い自社テクノロジーIPをライセンスする事業
顧客	再生可能エネルギーを導入する企業等	通信事業者・コンシューマー向けサービス事業者等	デジタル家電メーカー、パソコンメーカー等
主要製品・サービス等	・ EMS（エネルギーマネジメントシステム） ・ 太陽光蓄電池システム － スマートデータロガー － 蓄電池 － 太陽光発電モジュール － EV充電器	・ クラウドデータバックアップサービス － GreenBee Cloud Backup ・ モバイルアプリ脆弱性診断サービス － RiskFinder	・ 4K/8Kプレミアムコンテンツ再生 － Valution － TrueBD ・ 組込みブラウザ － tourbillon ・ デバイス連携アプリケーション － GreenBee Data Transfer － GreenBee Screen Mirroring ・ AIメイクアップアプリ － GreenBee Beauty Camera

「GXサービス事業」領域においては、当社の資本業務提携先で、太陽光発電所開発の最大手である株式会社ウエストホールディングス（以下、ウエスト社）と、ウエスト社向けDXシステムの開発に引き続き従事しております。

「DXサービス事業」領域においては、主力サービスである「GreenBee Cloud Backup」の9月末時点の有償サブスクリプション契約者数が294,000人に到達し、月間リカーリング収益は前年12月との比較で323%に拡大しました。新規契約獲得効率の向上や継続率の安定的な推移に加え、取引面での効率化が進み、収益性が向上しています。

「テクノロジーライセンス事業」領域においては、富士通パソコン「FMV」の新モデル（2025年10月14日発表）にデバイス連携アプリケーションの新製品「Screen Share」の提供を開始しました。また、拡大しているAI PC市場向けにAIを活用したPCソフトウェアの開発を進めており、開発収入の一部を計上いたしました。高収益製品へのシフトおよび効率的な人員再配置の取り組みも継続的に推進しており、当事業領域での営業収益改善に貢献しております。

また、繰越欠損金に係る繰延税金資産の回収可能性を見直し、繰延税金資産を追加計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高663百万円（前年同期比18.0%増）、営業利益127百万円（前年同期は10百万円の利益）、経常利益126百万円（前年同期比818.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益154百万円（前年同期比890.7%増）となりました。

(単位：百万円未満切捨て)

	前々第3四半期 連結累計期間	前第3四半期連結 累計期間	当第3四半期連結 累計期間	増減
売上高	582	562	663	101
営業利益又は営業損失(△)	△7	10	127	116
経常利益	5	13	126	112
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	△153	15	154	138

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,344百万円であり、前連結会計年度末と比べ114百万円増加しました。これは主に、ライセンス費用の払い出し等により原材料が26百万円減少したものの、現金及び預金が137百万円、売掛金が15百万円増加したことによるものであります。

(単位：百万円未満切捨て)

	前々連結会計年 度末	前連結会計年度末	当第3四半期連結 会計期間末	増減
現金及び預金	781	932	1,070	137
売掛金	215	196	212	15
仕掛品	1	5	6	0
原材料及び貯蔵品	116	64	37	△26

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は110百万円であり、前連結会計年度末と比べ35百万円増加しました。これは主に、繰延税金資産が39百万円増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は111百万円であり、前連結会計年度末と比べ9百万円増加しました。これは主に、賞与引当金が8百万円増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は11百万円であり、前連結会計年度末と比べほぼ変動はありません。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,332百万円であり、前連結会計年度末と比べ141百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加154百万円、資本剰余金の減少10百万円、為替換算調整勘定の減少2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました2025年12月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正しております。

(単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	960	111	109	108	46円42銭
今回修正予想(B)	911	150	150	189	81円56銭
増減額(B)-(A)	△49	39	40	81	—
増減率(%)	△5.1	+35.8	+37.2	+75.3	—
(ご参考)前期実績	806	50	60	63	27円88銭

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は663百万円となり、前年同期比で18.0%の増収となりました。

DXサービス事業におきましては、「GreenBee Cloud Backup」が、積極的な営業活動等により計画を上回るペースで拡大しており、第4四半期以降も引き続き順調に推移して今期末の新規契約者数とそれに伴う収益は当初予想を超える見込みです。

テクノロジーライセンス事業では、前年同期比で減収となったものの、AI PC向けのAIを活用したPCソフトウェア製品からの開発収入の計上、高収益製品への事業構造転換ならびに効率的な人員再配置が想定以上の成果を上げており、営業利益の改善に貢献しています。

GXサービス事業においては、一部商談の遅延により今期末の収益予想を下回ったため、全体の業績予想に反映しております。

これらにより、2025年12月期通期連結業績予想は、売上高を49百万円減少の911百万円（従来予想から5.1%減）、営業利益を39百万円増加の150百万円（同35.8%増）、経常利益を40百万円増加の150百万円（同37.2%増）に前回予想よりそれぞれを修正いたします。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、繰越欠損金に係る繰延税金資産の回収可能性を見直し、追加計上を見込んだ結果、81百万円増加の189百万円（同75.3%増）に前回予想より上方修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,347	1,070,079
売掛金	196,597	212,044
仕掛品	5,652	6,635
原材料及び貯蔵品	64,108	37,497
その他	30,780	18,157
流動資産合計	1,229,486	1,344,414
固定資産		
有形固定資産	13,199	9,676
無形固定資産		
ソフトウェア	445	1,707
その他	1,374	1,101
無形固定資産合計	1,819	2,808
投資その他の資産		
投資有価証券	13,500	13,500
繰延税金資産	18,757	57,901
敷金及び保証金	20,059	18,852
その他	8,012	8,000
投資その他の資産合計	60,329	98,253
固定資産合計	75,348	110,738
資産合計	1,304,834	1,455,152

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,172	12,173
未払法人税等	1,060	6,021
前受収益	5,499	10,111
賞与引当金	2,856	11,260
事業所閉鎖損失引当金	2,555	-
その他	73,951	71,601
流動負債合計	102,094	111,167
固定負債		
資産除去債務	5,586	4,661
繰延税金負債	6,096	7,058
固定負債合計	11,683	11,720
負債合計	113,777	122,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,241,960	1,231,223
利益剰余金	△76,127	78,431
自己株式	△29,860	△29,688
株主資本合計	1,145,972	1,289,966
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	4	-
為替換算調整勘定	45,080	42,298
その他の包括利益累計額合計	45,084	42,298
純資産合計	1,191,057	1,332,265
負債純資産合計	1,304,834	1,455,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	562,575	663,821
売上原価	252,325	245,425
売上総利益	310,250	418,395
販売費及び一般管理費	299,432	291,146
営業利益	10,817	127,249
営業外収益		
受取利息	191	1,311
助成金収入	138	124
為替差益	2,633	-
その他	5	698
営業外収益合計	2,969	2,133
営業外費用		
為替差損	-	2,696
その他	-	71
営業外費用合計	-	2,768
経常利益	13,786	126,614
特別利益		
固定資産売却益	42	-
特別利益合計	42	-
特別損失		
固定資産除却損	-	141
為替換算調整勘定取崩損	2,260	-
特別損失合計	2,260	141
税金等調整前四半期純利益	11,568	126,472
法人税等	△4,032	△28,086
四半期純利益	15,601	154,559
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,601	154,559

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	15,601	154,559
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	864	△4
為替換算調整勘定	11,381	△2,781
その他の包括利益合計	12,245	△2,786
四半期包括利益	27,847	151,772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,847	151,772

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、この変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	4,846千円	3,878千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは単一セグメントですが、事業といたしましては、テクノロジーライセンス事業、DXサービス事業、GXサービス事業の3事業から構成されており、顧客との契約から生じる収益を分解した情報に関しましては、事業別で開示しております。

各事業の概要は、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」を参照ください。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
顧客との契約から生じる収益	562,575	663,821
テクノロジーライセンス事業	444,371	423,193
DXサービス事業	99,038	220,171
GXサービス事業	19,165	20,455
その他の収益	—	—
外部顧客への売上高	562,575	663,821